

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
(以下「ディズニー」という)
第二十五回ディズニー・チャンネル/ディズニーXD放送番組審議会
議事録

開催日時 : 2015年12月02日(水) 17:30~18:30
開催場所 : 東京都港区虎ノ門1-23-1
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
27F 会議室
在任審議委員数 : 7
出席審議委員数 : 7
出席審議委員氏名 : 阿部 京子
加藤 諦三
木下 美子
戸田 奈津子
名越 康文
前田 耕作
山田 顕喜
その他、ディズニ : 編成部門担当者5名
ーからの出席者

- 議案**
- 1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXDの番組編成・改編について
 - 2) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にDVDを送付した。)
 - ・「ティーン・スパイ K.C.」
 - ・「それいけ!カキ男」
 - ・「カンフー・パンダ ザ・シリーズ」

審議の概要

- 1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD番組編成について
ディズニー・チャンネル及びディズニーXDの番組編成・改編について説明がされ、下記のとおり意見交換が行われた。
(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)
 - ディズニー・チャンネルでは、12月18日(金)にディズニー・チャンネルオリジナル映画「ディセンダント」の初放送。これを記念する特集として、

4人のヴィランズそれぞれが登場する映画を放送する。

- 今月は「アナと雪の女王」の絵文字の短編アニメーションも放送。
- 来年1月からレギュラー放送開始の「悪魔バスター☆スター・バタフライ」を同じく12月18日(金)に先行放送する。
- ディズニージュニアの時間帯に関しては、「ジェイクとソフィアのふゆはさいこう!」の特別編成を組んでおり、この時期に合うエピソードを放送する。

- ディズニーXDでは、今月18日の映画「スター・ウォーズ/フォースの覚醒」公開に合わせて、スター・ウォーズを前面に押し出す編成を組んでいる。
特に13日(日)は、12:00から19:30まで「覚醒直前 スター・ウォーズ祭」と称して、「スター・ウォーズ 反乱者たち」を一挙放送する。
その他、アニメーション映画「スター・ウォーズ/クローン・ウォーズ」や「LEGO スター・ウォーズ」なども放送する。
- 18日公開の新作映画に登場するロボットのBB-8だが、本当に動くものを作ってしまったというのが凄い。
- その他、12月には、21日(月)から来月8日(金)まで冬休み編成にも力を入れており、寒さを吹き飛ばすべくギャグもので押していく予定。
6日(日)には、「ディズニーXD 爆笑クリスマス」の特別編成を組んでいて、クリスマスに関連したエピソードを放送。
- 19日(土)には、「ルパン三世特集」を組んでおり、「ルパン三世 くたばれノストラダムス」「ルパン三世 DEAD OR ALIVE」「ルパン三世 VS 名探偵コナン THE MOVIE」を放送する。

2) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について

ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

『ティーン・スパイ K.C.』について：

- 以前「シェキラ!」という実写ドラマシリーズに出演して人気だったゼンデイヤが主演のスパイもの実写ドラマ。
アメリカでは今年の1月から放送開始され、初回放送では約350万人が視聴し、このとき1位を獲得。日本では5月30日から放送開始。

- 主演のゼンデイヤは、演技はもちろん、歌唱力も有って、ダンスも得意。ファッションの分野でも、ティーンの憧れの存在。
- コメディなのが良く、日本ではシリアスになってしまうため、スパイものを制作するのは難しい。
- 主演の子は、ダンスの基本も持っているのでアクションができてよい。このようにマルチで色々こなせる俳優は中々いない。
- 弟の扱いがちょっとかわいそうにも思えた。
- 一見すると、いつも弟は蚊帳の外、のような扱いにも見えるが、彼が活躍するエピソード等も有る。
- 後々のエピソードで認められる場面もあると聞いてホッとした。
- 弟が言われていることを、同じころの自分が言われたらへこむだろうな、と思うが、とらえ方が前向きなところがすごい。
- 精神分析的には、普通、親の職業がスパイだと知ってしまうと原信頼（信頼感の基盤のようなもの）が崩壊してしまう。それに兄弟の扱いがちがってくると、最も深刻な問題を引き起こすのに、これがコメディになっており、何ら不自然さを感じない作りになっているのが良い。

『それいけ！カキ男』について：

- 化学物質の影響で半分カキ・半分人間として生まれたカキ男と、双子の兄のカラ蔵が人間の養子になり、二人で学校に通う。彼らのおバカな毎日を描いた作品。
- 2014 年からフランスで制作された作品。ヨーロッパのディズニーXDも制作にかかわっている。少し日本の作品の影響を受けたと思われる部分も見受けられる。
- アメリカとはまた少し感覚が異なり、ゴチャゴチャした印象を受けた。
- 面白いが、ストーリーの展開が速く、話で追おうとすると難しい。
- 兄は学校に行っていないのか？
- 兄のカラ蔵は、弟のカバンとして一緒に学校に行っている。彼の口の部分がチャックになっている。
- フランスの作品と聞いて納得。最後に少し後味が残る、最後まで滑っている、というのがフランス風と感じた。

『カンフー・パンダ ザ・シリーズ』について：

- 2008 年に公開された映画「カンフー・パンダ」がもとになった作品。

アメリカでは 2011 年から、日本では今年の 4 月 13 日から放送を開始。

- 非常に知名度も高く、新エピソードの放送スケジュールを知りたいという声を多く受ける作品。
- ストーリー展開のテンポも良く、迫力があって面白い。
- 一番強いトラが女性だというのが面白い。アメリカではそういうのも考えられているのだろうか？ 例えば日本のレンジャーものなどでは女性のキャラクターはいつも一人だけ弱い。
- この点は意識されていると思う。例えば先程の「ティーン・スパイ K.C.」等でもそうだが、女性が活躍し、母親が家族をしっかりまとめるリーダー的な立場にあることが多い。
- 現実のパンダとのギャップがあるのが良い。パンダは可愛いイメージを持たれているのに、パンダから迫力が出ているので、パンダっぽくない。この重量級の体型で、カンフーがちゃんとできるのがすごい。
- 登場キャラクターのそれぞれが綺麗で魅力的に描かれている。

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので 18：30 に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。